

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311
e-mail：honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

『家の光』の「元気な地域づくり」

和歌山のお手玉の会の森教二さん登場



8月の「たまちゃん通信」(No. 90-2)で、JAの月刊誌『家の光』平成29年9月号(写真:左)の「第1別冊付録」に、日本のお手玉の会の「端切れで作る座布団型お手玉」と、「楽しいお手玉エクササイズ」が取り上げられたことを紹介しました。その同じ9月号の「中日

本版」に、和歌山のお手玉の会の活動で活躍している森教二さんが、“JA発元気な地域づくり”のページに、『シニアをつなぐ！男の道楽塾』に登場しています。(写真右：左端が手品を教えている森教二さん、「家の光」の誌面から)

森さんは、和歌山のお手玉の会の森勝代会長のご主人で、日ごろから小学生向けや、成人・高齢者向けの「お手玉教室」で、自慢のこま回しや、マジックを披露するなどして、参加者の雰囲気をやわらげたり、お手玉とともに伝承遊びのこま回しの普及に、取り組んでいます。



マジシャンズクラブの森教二さんを招いて手品にチャレンジ。ハンカチを消したり、ひもの結び目を一瞬でほどいたり初心者向けのマジックを学んだ

- 毎回アンケートを実施し、今後の活動内容に生かす
- 組合員への加入やJA事業を利用すると、受講料が割引きとなる特典を設定

マジックや曲独楽の刀の刃渡りは故桂米八さんに学んだ



森さんのマジックショーや、曲独楽(こま)の刀の刃渡りなどの技は、大阪の近鉄カルチャースクールで、故桂米八さんに2年半かけて教えてもらったそうです。

JAの「男の道楽塾」では、“手品にチャレンジ”ということで、トランプのマジックや、ハンカチを消したり、ひもの結び目を一瞬にしてほどいたり、初心者向けのマジックを教えたとのこと。道楽塾を受講した人は、「家に帰って家族に披露します」と喜んでいました。

森教二さんは、「これからも、たくさんの人にマジックの楽しさを体験していただくとともに、『お手玉教室』でも楽しい雰囲気づくりと、お手玉とこまの伝承遊びを、多くの人に体験してもらおう、努力したい」と話していました。(写真左：お手玉教室で、得意の曲独楽の刀の刃渡りを披露する森教二さん)